

中通小学校と東北森林管理局との協働による 「環境美化の集い」



令和4年
6月17日

東北森林管理局では、平成14年度より本局と隣接している秋田市立中通小学校と協働で、木製プランターに花苗を植栽する環境美化活動を実施しています。令和4年度は、4年生が秋田スギで木製プランターを作成して花苗を植えたとともに、「森と木の学習の時間」を通して森林の役割について学びました。



MENU
1

木製プランター作り

はじめに、秋田スギの板材で木製プランターを作りました。当局職員がお手本を見せながら作り方を教え、それを真似して一生懸命作っていました。板材の香りを嗅いだり、手触りを確認した子供たちは、「いい匂い」、「つるつるしてる」と木製品の魅力を実感していました。



MENU
2

花苗の植付け

花苗は夏の暑さに強く、晩春まで元気に咲く4種類（ペチュニア、センニチコウ、サルビア、ニチソウ）を植えました。子供たちは色とりどりのお花を見て「かわいい」、「きれい」と話しながら、お友達と協力して1つひとつ丁寧に植えていました。



MENU
3

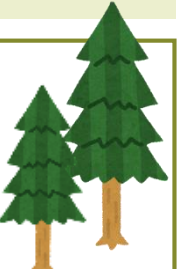
森と木の学習

森林の役割について、クイズを交えて紹介しました。森林には災害を防ぐ働きや水を蓄える働き、地球温暖化の防止に貢献する働きなど、たくさんの役割があることをしっかりと聞いて学んでいました。クイズの難易度は少し高めでしたが、みなさん元気よく答えてくれました。



子供たちの感想

- 🌲 自然の大切さがよく分かった。
- 🌲 植物を大切にしていこうと思った。
- 🌲 自分で釘を打ってプランターを作ったのが楽しかった。
- 🌲 初めて知ったことがたくさんあったので、嬉しかった。



作成したプランターは、小学校の構内と東北森林管理局正面の道路脇に飾りました。このイベントをきっかけとして、今後も生活の中に積極的に木製品を取り入れていただければ幸いです。

